



増刊HSK



季刊わたぼうし

NO.84
'10春

お出かけ企画

ライトレールで行く富山市岩瀬浜Ⅱ

今回の目次

※お出かけ企画・ライトレールで行く岩瀬浜Ⅱ

- ・富山駅北ホーム 2
- ・さあ、電車に乗ろう 2
- ・電車の乗車口 3
- ・電車の運転席・車内 3
- ・車いす専用スペースは2カ所 4
- ・ポートルムの停車駅・車窓から 4
- ・ポートルムの歩みと概要 5

※JR七尾線を使って気軽に出かけよう

七尾、羽咋の観光地

- ・能登地方に階段昇降機が入る 1台200万円 6
- ・JR七尾駅と昇降機 6
- ・七尾市内観光 7
- ・JR羽咋駅と昇降機 8
- ・羽咋市内観光 9
- ・JR金沢駅と駅周辺 10
- ・金沢周遊バス 11
- ・七尾・羽咋で昇降機の利用写真展 12

※「HSK季刊わたぼうし」創刊25周年寄せ書き色紙

13

※協会会費納入のお願い

14

宮田 比呂雪



ラーメン店が混み

底辺のくらし



この機関紙は障がいのある人、ない人が自由に考えを出し合い、主義・主張を越えて、お互いを理解し合う中から共に生きる豊かな社会を作っていくことを目的として発行しています。

お出かけ企画・ライトレールで行く富山市岩瀬浜Ⅱ

前回はJ R 富山駅周辺の交通機関、富山駅からライトレールの富山駅北までの移動方法、駅周辺について紹介しました。

今回はライトレールに乗車し、駅、車内の様子について報告します。

富山駅北ホーム



駅のホーム・正面は北陸電力本社社屋



駅に入って来たポートラム

さあ、電車に乗ろう

始発の富山駅北から終点の岩瀬浜まで乗ってみました。ホームから車両への乗降や車内には全く段差がなく低底車両。車いす等の乗車がスムーズにできます。前と後の運転席の近くに車いす専用席が2カ所あり、車窓は大きく外の眺めは心地よい開放感を味わえます。



車両は個性を伝える7色。①赤、②オレンジ、③黄色、④黄緑、⑤緑、⑥青、⑦紫。



乗車口の段差はほとんどない。



車いすが気軽に乗れる段差

上の3枚の写真提供は「自立生活支援センター富山」
電車とホームの段差はあまりなく、車いすや乳母車でも気軽に乗られます。ライトレールの全駅が同じ造りになっています。



ホームのスロープ

ライトレールのホームは全駅が写真のようにスロープになっており、障がい者・高齢者・乳母車のお母さんたちが利用しやすい優しい造りになっています。

電車の乗車口



車内から撮影したホーム



パスカ

購入したICカードをパネルにタッチする。「パスカ」とは、ポータル・フィーダーバス・まいどはやバス・グランドパーキングで利用できる簡単・便利なICカードです。

電車が停車し、降車ドアが開いてから、カードリーダー（ドアの左右2ヶ所）の青色のタッチパネルに「パスカ乗車券」をタッチしてください。降車ドアは電車の前方です。

電車の運転席・車内



私は今回を含めて2回ライトレールに乗車しましたが、優しくて、親切な運転手さんばかりでした。



車内の通路

上の写真提供は「自立生活支援センター富山」

車いす専用座席が前方の運転席の後ろにあるため、車内の通路を利用しないので詳しいことはわかりませんでした。

車いす専用スペースは2カ所

車両は2両編成でそれぞれの車両に運転席があるのですが、車いす専用スペースはどちらの車両も運転席の真後ろにあります。手すりとは平行にいる場合はご覧の通り車いすは1台のみのスペースです。

写真で見る限り狭く見えますが、実際乗ってみると案外ゆったりしていて、窓からの眺めも良く、景色を楽しむことが出来ました。私が乗っている写真がなく、「自立生活支援センター富山」より提供していただきました。



車いす専用スペース①



車いす専用スペース②



ポートラムの停車駅・車窓から

富山駅北(始発)→インテック本社前→
奥田中学校前→下奥井→
乗島(大飯屋ショップ前)→越中中島→
城川原→犬島新町→蓮町→大広田→東岩瀬→
競輪場前→岩瀬浜(終点)



反対方向へ走るポートラム



富山競輪駅



終点、岩瀬浜駅に到着

ポトラムの歩み・概要

前号より「ライトレール(ポトラム)」の特集を組んでいます、どのようにして誕生したか、インターネットで調べたものを掲載します。

エル-アール-ティー【LRT】

(light rail transit) 都市の新交通システムの一つ。路面電車の性能を向上させるなどして、他の交通手段との連続性を高めたもの。(広辞苑 第六版)

概要

JR富山港線を第三セクター化の上、LRT化し、日本初の名実伴うライトレールとして2006年に開業した路線。

国内初の本格的LRT

JR富山港線から富山ライトレールへのリニューアルにおいて、富山市北部の公共交通軸として、また富山市内へのアクセス路線としてリニューアルしています。

一貫した高い快適な乗降性

LRTだからバリアフリーなわけではなく、ユニバーサルデザイン的な一貫した快適な乗降性を有していなければ何の意味もありません。

電車の乗降口は広く、ホームとの段差もありません。ホームは広く幅を取っていて車いすやベビーカーの通行に支障がないものになっています。



車内も広いスペースが確保されています。また、車いすスペースを単に立ち空間とするのではなく、跳ね上げ式座席により着席も可能とするなど高い快適性を有しています。



車いす専用スペース

都市交通としての利便性

都市交通機関としての利便としては十分なレベルを確保していると言えます。10～15分間隔での運転頻度を確保し、またバスなどとの有機的な結合により単に沿線だけではなく広い範囲からの集客を可能とするなど及第点をあげることが出来ます。

次号へ続く

JR七尾線を使って気軽に出かけよう・七尾、羽咋の観光地

○能登地方に階段昇降機が入る 1台200万円

昨年の秋、JR七尾線の羽咋駅、七尾駅に階段昇降機が入り、車いす利用者にとって朗報です。予約をして多いに利用しましょう。電話は羽咋駅:0767-22-0072・七尾駅:0767-52-0236(9時~18時)

JR七尾駅と昇降機



JR七尾駅正面



昇降機全体



昇降機に乗車



昇り始めました



これで駅員さんの負担も減ります。



良い眺めだ。あの電車に乗って来たの？
七尾市内観光に出発!! Let's go

七尾市内観光

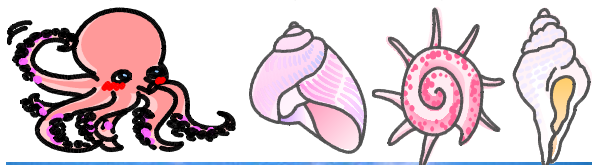


J R 七尾駅正面



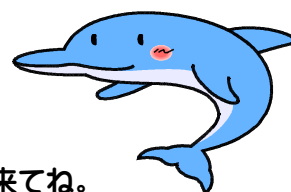
駅前中心街

「七尾フィッシャーマンズ・ワーフ・能登食祭市場」レストランやイベント広場があるよ。



能登食祭市場

僕のイルカショーは
「のとじま水族館」です。
「能登島大橋」を渡って来てね。



能登島大橋

駅の横だ。得意の横歩き
で、行くぞみんな!



～まち・つながり・働き・暮らし応援センター～



JR羽咋駅と昇降機

七尾から約30分羽咋駅に到着



①スロープで昇降機に乗ります。



②しっかり安全ベルトを止めます。



③階段を昇り始めました。



④車輪です。



⑤このように階段を昇り降りします。



⑥陸橋を横断中



⑦改札口を通り羽咋駅に到着

羽咋市内観光に出発!! Let's go

羽咋市内観光



さあ、出発だ。何処へ行くのかな？



コスモアイル羽咋・正面玄関



TV金沢の「となりのテレ金ちゃん」で紹介された饅頭屋さん



コスモアイル羽咋・ロケット



羽咋小学校前



羽咋神社前



夏の千里浜の朝



羽咋駅に戻りました。七尾へ帰ります。

JR金沢駅と駅周辺



七尾から金沢に到着



以前は貨物用エレベーターを使っていました。

上の2枚の写真は本人の了解を得て掲載。2004年撮影



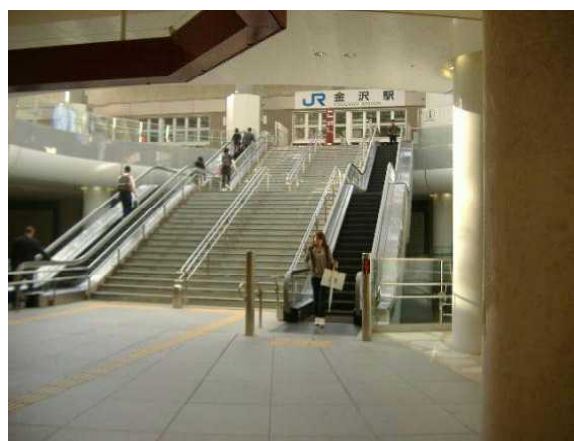
現在の金沢駅は改札口に四台のエレベーターがあります。



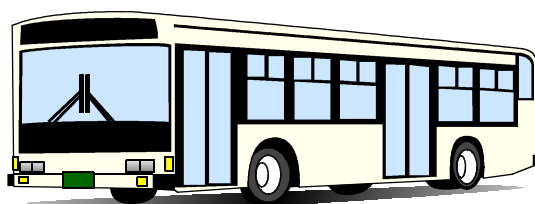
金沢駅もてなしドーム



福祉サービス車両専用パーキング



地下からの金沢駅正面





後ろの方が乗りやすい



横から乗るのは車内での移動が難しい。
この写真は本人の了解を得て掲載。2004年撮影

金沢周遊バス

藩政時代から受け継ぐ伝統が息づく
この金沢で、城下町の風情を満喫しながら
悠久の流れを肌で感じる。

そんな「金沢散歩」はいかがでしょう。
金沢の三文豪(泉鏡花・徳田秋声・室
生犀星)の名を冠すバスたちとともに
古い街並みや、川のせせらぎや、そして
澄んだ空気の中で。

ここでしか味わえない「金沢散歩」を、
ぜひ、貴方に -。

青 - 犀星号 緑 - 秋声号

赤 - 鏡花号

「北陸鉄道」ホームページより

七尾・羽咋で階段昇降機の写真展

①JR七尾駅の写真展示会

2009年12月9日～18日



②JR羽咋駅の写真展示会

2010年1月15日～22日



③コスモアイル羽咋の写真展示会

2010年1月25日～2月19日



横から乗るのは車内での移動が難しい。
この写真は本人の了解を得て掲載。2004年撮影

④羽咋市文化会館の写真展示会

2010年2月12日～3月12日



⑤ギャラリー「雲」(羽咋市)の写真展示会

2010年3月12日～17日



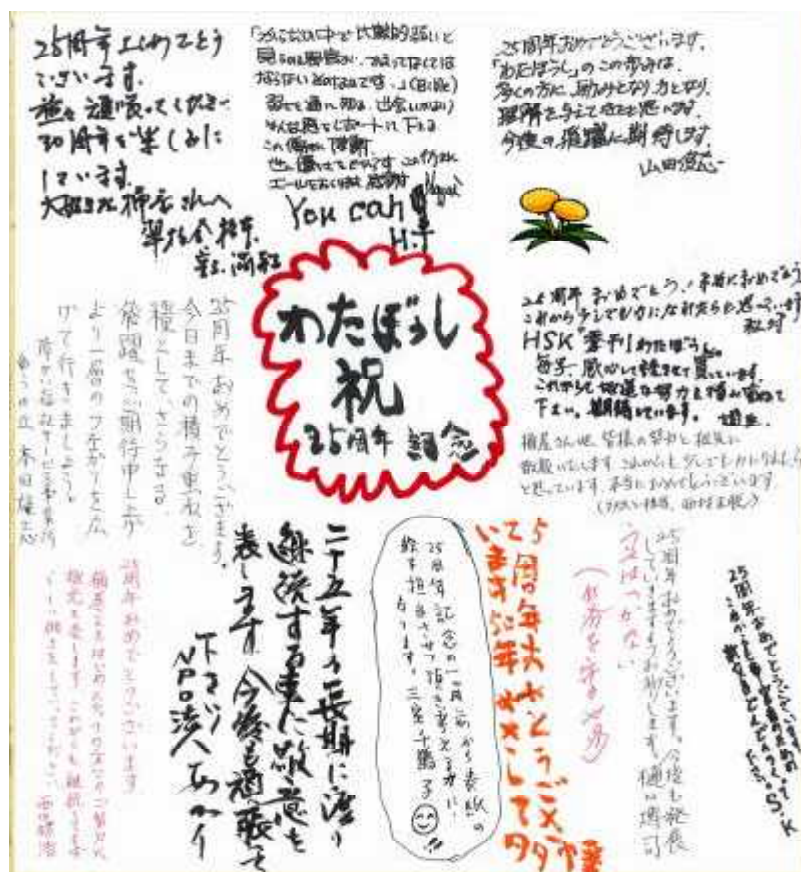
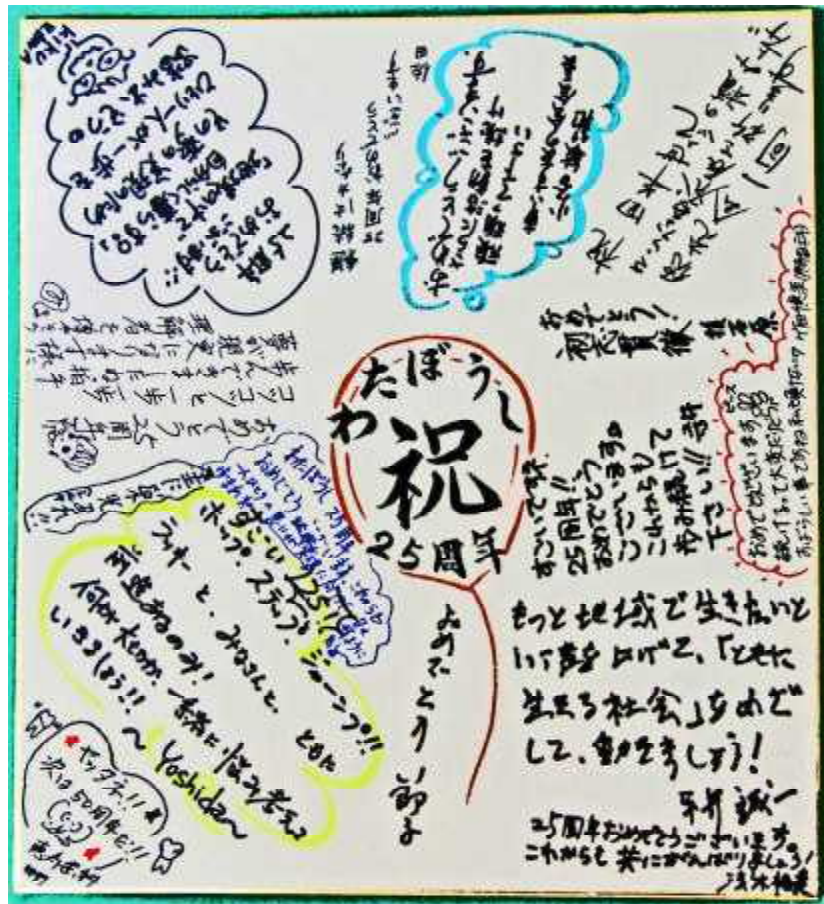
⑥羽咋市役所の写真展示会

2010年3月18日～



お 礼

「階段昇降機利用写真」展の開催は青山彩光苑・JR七尾駅・JR羽咋駅・コスモアイル羽咋・ギャラリー「雲」・羽咋市役所・羽咋市社会福祉協議会(敬称略)よりご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。



協力会費納入のお願いについて

平素は「HSK季刊わたぼうし」をご愛読いただきありがとうございます。

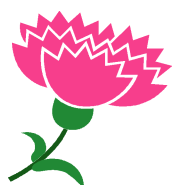
「HSK季刊わたぼうし」は1985年(昭和60年)1月に「羽咋わたぼうし会」の有志で施設利用者・在宅障がい者・健常者の交流を目的に創刊しました。

創刊以来、読者の皆様からの会費をいただきながら25年間、発行を続けてきました。

今後も能登地方の障がい者福祉活動として「HSK季刊わたぼうし」を存続させていくため皆様のご協力をいただきたく、今回、郵便振替用紙を同封させていただきました。

なお、これは強制ではなく、主旨をご理解の上ご協力いただきますようお願いいたします。また、既に振り込まれた方にも、送付作業の関係上、振替用紙が同封されていますのでご理解のほどお願いいたします。

2010年4月



「HSK季刊わたぼうし」事務局

編集後記

「HSK季刊わたぼうし」発刊25周年を迎え、周囲にも体の弱さを覚える仲間たちが増えてきております。以前は投稿も多く賑やかな紙面でしたが、最近では少なくなり寂しい思いをしています。

さて、長く続いておりました「川柳裏表紙」は、作者の都合で終了させていただきます。長い間ご愛読いただきましてありがとうございました。

今後はデジカメを持って出かけ、地域のバリアフリー、季節の移り変わりの様子などを取材していきたいと思っております。ご期待下さい。(Z.O)



青山彩光苑の坂道に咲く桜桃と染井吉野

年間協力会員募集中

この機関紙は障がいのある人、ない人がそれぞれの考えを出し合う中から、互いに理解を深め、共に生きる豊かな社会づくりを目的として、有志により発行しています。

つきましては、主旨に賛同して協力会員になっていただく方々を募集しています。

この会費で、在宅障がい者や福祉関係機関等に送付していますので、機関紙一部の料金ではなく、年間協力会費として扱っています。

年間協力会費：2,000円

会費振込先：郵便振替口座

振込先名義：わたぼうし連絡会

00750-6-9791

送付：春、夏、秋、冬

編集及び連絡先

「HSK季刊わたぼうし」ホームページ

<http://jiritsusien.com/>

メール：zen@san9.net

定価二〇〇円